

高濃度PCB含有コンデンサを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
(株) オリジン	「OFP-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1955年4月～1992年12月
	「4FR-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1988年10月
	「5FR-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1993年3月
	「C1FP-」または「C-1FP」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1972年4月
	「C4M-」または「C-4M-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1972年4月
	「OA-」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字	オリジン電気株式会社		1959年4月～1993年3月
	「OAS-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1959年7月～1993年3月
	「P-O」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字	オリジン電気株式会社		1960年2月～1993年3月
	「OD-」で始まる機種 ※電源部 ○は数字	オリジン電気株式会社		1960年5月～1993年5月
	「C-1AS」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1960年7月～1972年4月
	「V-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1960年9月～1993年3月
	「1-HP」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1961年1月～1972年4月
	「J-1～9-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1969年8月～1993年3月
	「H-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1969年10月～1989年9月
	「KFP-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1969年10月～1971年6月
	「4P0-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1970年3月～1985年6月
	「Z-OA-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1970年5月～1990年3月
	「SA-○○」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1970年10月～1993年3月
	「SP-○○」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1970年2月～1987年11月
	「JV-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1975年7月～1993年3月
	「JP-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1970年3月～1993年3月
	「JPF-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1986年5月～1993年3月
	「JZ-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1971年1月～1991年3月
	「K-」で始まる機種 ※機構部のみ	オリジン電気株式会社		1970年10月～1993年3月
	「D-」で始まる機種 ※電源部のみ	オリジン電気株式会社		1970年6月～1993年5月
	「OAP-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1971年1月～1982年2月
	「KAP-」または「K-AP-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1970年6月～1971年6月
	「OP-15」※プラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		1971年3月～1977年7月
	「OP-40」※プラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		1971年8月～1978年10月
	「OPW-100」※プラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		1972年12月～1977年1月
	「OPW-200」※プラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		～1984年2月
	「OPW-300」※プラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		～1978年3月
	「PCD-100-405」※プラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1977年3月～1982年2月
	「PCD-100-406」※プラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1981年10月～1985年3月
	「PCD-150-380」※プラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1975年12月～1980年3月
	「PCD-150-416」※プラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1985年8月～1991年8月

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
(株) オリジン	【使用コンデンサについて】 1) 使用コンデンサメーカー：日ケミ、マルコン（現：日ケミ山形） 2) 期間内の製造でオイルコンデンサ（型式：OP～）・MPコンデンサ（型式：MP～、～MWK～）・ペーパーコンデンサ（型式：～DU～）の搭載されている装置が対象です。 取扱説明書に記載のある回路素子表よりご判断ください。ご判断ができない場合は、装置に具備された装置銘板より製造番号をご連絡頂ければ対象装置か回答可能です。 対象装置に関しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をお願い致します。			
(株) ダイヘン	HP掲載の通り（ https://www.daihen.co.jp/csr/pcb/index08.html ）			
電元社トーア（株）	定置式スポット溶接機 SLPシリーズ	東亜精機（株） （～1988年） ナストーア（株） （1988年～2011年）	1970年7月～1973年3月	1973年4月～1990年3月
	定置式プロジェクション溶接機 POシリーズ			
	定置式シーム溶接機 RCK・RCG・RUGシリーズ			
	タイマーコンタクター TCシリーズ			
	屋根シーム溶接機 S5-TH-Yシリーズ			
	定置スポット溶接機 NDシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	プロジェクション溶接機 NP・NPNシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	シーム溶接機 UC・UL・UU・UCTシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	三相整流式溶接機 NRP・NRMシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	三相低周波式溶接機 NFM・UFMシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	フラッシュ溶接機 FA・FO・FMシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	コンタクタ SNシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
(株) ナ・デックス	IC タイマ：SC4 型	(株) 名古屋電元社	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	CMOSタイマ：TCC4-17*	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	マイコンエース：M******	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅠ：TMCO-*** / CSM-***	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅡ：TCUO-**** / CSU-***	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅢ：U30-****	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅣ：U40-****	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	RWC：U32-****	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	AWC：AWC-**	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	PHASE 1：PH1-****	(株) 名古屋電元社	使用していません	
(株) 神戸製鋼所	SP500-****	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1985年～1988年 ※1
	SP350-****	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1987年～1988年 ※1
	PC350-***1, PC350-***2	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1988年～1998年 ※2
	AL350-***1	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1991年～1996年 ※2
	【微量PCB混入が懸念されるコンデンサについて】 ※1) ペーパーコンデンサDUシリーズ（マルコン電子） ※2) ペーパーコンデンサ100DU223M（マルコン電子）。但し、製造年が1990年～1998年の溶接機PC350, AL350のうち、使用した当該コンデンサの製造年が1990年以降の場合（コンデンサの製造ロット番号、0A, 0B---0L, 0M(1990年)～8A, 8B---8L, 8M(1998年)）は、微量PCB混入の懸念は無いため対象外。			
パナソニック（株）	別紙1の通り			
育良精機（株）	該当なし			
OBARA（株）	該当なし			
(株) 向洋技研	該当なし			
(株) 中央製作所	該当なし			
デンヨー（株）	該当なし			
(株) 電溶工業	該当なし			
古河電工パワーシステムズ（株）	該当なし			

高濃度PCB含有コンデンサを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
パナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株)	下記の通り			

記

PCB使用溶接機／微量PCB混入溶接機について

① 1972年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1972年以前に製造された溶接機には、PCBを使用しているものがあります。

溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。

主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。

対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします

【PCB使用溶接機品番と製造期間】(*には数字/英文字が入ります)

○製造期間:1957年(昭和32年)～1972年(昭和47年)

LAW-136(5)*	YK-136(5)E*	YK-136(5)F*
LAW-256(5)*	YK-206(5)E*	YK-186(5)F*
LAW-306(5)*	YK-256(5)E*	YK-206(5)F*
LAW-406(5)*	YK-306(5)E*	YK-256(5)F*
LAW-506(5)*	YK-406(5)E*	YK-306(5)F*
	YK-506(5)E*	YK-406(5)F*
		YK-506(5)F*

○製造期間:1957年(昭和32年)～1959年(昭和34年)

SAW-066(5)

○製造期間:1957年(昭和32年)～1963年(昭和38年)

SAW-306(5)

SAW-506(5)

別紙1 続き

○上記以外は個別にお問い合わせください

② 1990年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1990年以前に製造された溶接機には、製造時における微量PCB混入の可能性を完全に否定することができないものがあります。

溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。

主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。

対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします。

③ 1991年以降に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1991年以降に製造された溶接機は、製造時におけるPCBの混入の可能性ある対象機種に該当いたしません。